

F-REI 市町村座談会（飯舘村）議事要旨

1. 日 時 令和5年11月6日（月） 13:45～15:15

2. 場 所 飯舘村役場 第一会議室

3. 議 事

(1) 開 会

(2) 挨拶

(3) F-REI の取組紹介

(4) 意見交換

<テーマ> F-REI との未来の連携について

(5) 閉 会

【主な発言内容】

- 当会青年部では、「リトル飯舘村」というものを立ち上げており、その中で技術開発による産業振興についても議論している。議論を進めるうえで、F-REI の研究開発の動向も注視していきたいと考えている。
- 復興に向けて歩みだす姿が見えた。F-REI の知名度はまだまだ低いが、期待をしている。
- 水中での有機質分解の技術開発が進んだことから、有機質肥料を使ったミニトマトの水耕栽培を行っている。宇宙での水耕栽培に関する研究開発を進めているという話もあるので、新たな農業として、こうした技術の活用も検討していただきたい。
- 今後の行政区の未来像を構築・創造するため、子供たちのふるさと愛を養うための活動も行っている。F-REI に集まる研究者の賑わいが中山間地域にも波及するような人の流れができることを期待している。
- スマート農業とは違い、スマート林業がどのようなものか想像し難いが、林業者として協力していきたい。

- 家畜の出産時期や発情期を把握できるようなセンサーやゲノム等の新しい技術を使って畜産に取り組んでいるが、それでも畜産は儲からない。ぜひ畜産が儲かるような研究開発を進めていただきたい。
- 当社では、村外の移住検討者の相談対応を行っている。
- 研究開発に関して、産業化や事業化という経済面、いわゆる出口のところが肝要になると考える。飯舘村は、主要産業が一次産業である農業であるが、それが移住のハードルにもなっている。F-REIの研究で農業がどのように産業化されていくのか注視していきたい。
- 当社は、デザイン会社ではあるが、デザイン業務の他に移住定住促進業務として移住希望者を対象としたツアーを行っている。飯舘村で農業をやってみたいという人も出てきており、徐々に成果も上がってきた。
- ツアーでは、村民の方々と触れ合うことを大切にしている。飯舘村はもともと開拓地であることから村民の方々はパイオニア精神を持ち合わせており、それに共感した移住者の方々が加わり、この村を支えるようになっている。
- F-REIの日本の力を集結して世界に対抗するものを作っていく精神は素晴らしいが、画一的になりがちと考える。研究者やその家族の方々には、ぜひ飯舘村をはじめ、浜通りの方々と触れ合って、この地を堪能していただきたい。